

令和5年度事業報告書

I 概要

人生100年時代を迎え、シニア世代の生き方や価値観が多様化するとともに、高齢化や人口減少が急激に進行する中で、高齢者にも地域の一員として地域社会を支える一定の役割が期待されるなど、高齢者を取り巻く環境や社会的ニーズが変化してきています。

当センターは、高齢者が培ってきた知識や経験、技能を積極的に社会参加活動に生かすなど、高齢者の生きがいと健康づくりを増進することにより、「豊かで活力ある長寿社会づくり」の実現を目指しており、現在、「誰もがその人らしく生き抜く長寿社会の実現」を目標として、「意識づくり」、「人づくり」、「仲間づくり・健康づくり」、「コーディネート仕組みづくり」の4つの柱に沿った事業展開を進めています。

令和5年度においても、県の施策及び関係機関と連携し、高齢者の活躍を支援し、社会参加を促進する事業を推進してまいりました。

「意識づくり」では、情報誌「信州りらく」を発行し、高齢者の生きがいと健康づくり及び社会参加活動等に関する情報を発信するとともに、「人生二毛作実践事例集」、「人生ニモウサク劇場 Web 版」等を活用し、地域でのシニア世代の活動を周知しました。また、県民参加の「タウンミーティング」や市町村、市町村社会福祉協議会、シルバー人材センター等の関係機関と連携した「ネットワーク会議」を開催し、高齢者の社会参加活動を支援しました。

「人づくり」では、「長野県シニア大学」を、感染症感染防止対策に引き続き留意しながら運営しました。一般コースでは、2月には全ての学部においてカリキュラムを終了し、卒業式を開催することができました。また、専門コースについても、対面方式とオンライン方式を併用しながら順調に授業を進めることができました。

「仲間づくり・健康づくり」では、「信州ねんりんピック」の文化・芸術交流大会を4年ぶりにシニア作品展とともに開催し、スポーツ交流大会を昨年度に引き続き開催することができました。また、愛媛県で開催された「全国健康福祉祭」に長野県選手団を派遣しました。

賛助会については、その運営やグループ活動を支援するとともに、地区賛助会連絡協議会の場でグループ活動の活性化に向けた意見交換を実施しました。

「コーディネート仕組みづくり」では、「シニア活動推進コーディネーター」が軸となり、県や市町村、市町村社協、NPO、学校等と連携体制を構築し、シニアの社会参加を支援しました。

II 事業別実施状況

1 意識づくり

(1) 情報提供事業

高齢者の生きがいと健康づくり及び社会参加活動等に関する情報を発信し、活力ある長寿社会づくりに関する普及啓発を行った。

ア 情報誌発行事業

- ・情報誌「信州りらく」を発行し、高齢者の文化活動や地域の社会参加活動等に関する情報を発信し、生きがい・健康づくりや社会参加に対する意識の高揚を図った。
- ・情報誌企画・編集委員会で、読者の声を踏まえて編集方針や誌面等の検討を行い、内容充実に努めた。

- ▶ 発行回数 年3回（7月、11月、3月）
- ▶ 発行部数 4,500部／回
- ▶ 配布先 市町村、図書館、公民館、賛助会員等

イ 広報事業

- ・センターの事業や支部等の活動、高齢者の社会参加に関する情報を、ホームページやセンターパンフレットにより発信した。
- ・「人生ニ毛作実践事例集」や「人生ニモウサク劇場 Web 版」を通じて、高齢者の社会活動の事例の紹介に努めた。

(2) 啓発普及事業

高齢者の生きがいと健康づくりに対する県民の意識の高揚を図るため、広報啓発活動を実施した。

ア 広報啓発事業

- ・賛助会員加入案内パンフレットを活用して、県民、シニア大学生やイベント参加者等に対し、センターの事業の周知とともに賛助会活動の魅力を紹介し、賛助会の加入促進を図った。
- ・報道機関や関係団体への情報提供、公式 LINE による情報発信に努めた。

イ ホームページ運営事業

- ・センター事業の紹介、支部・地区賛助会の活動状況等の情報を適時の掲載・更新や、シニア大学の学生募集の時期には特設ページを設けるなど、タイムリーな情報掲載に配慮した。
- ・センターのホームページは、シニア大学や賛助会に関するページを中心に、より見やすくわかりやすくなるようメニューや構成の改善に努めた（賛助会グループ一覧への各グループが作成した活動紹介のリンク設定など）。

ウ 表彰事業

- ・高齢者の生きがいと健康づくり及び社会参加活動に特に功績のあった賛助会員の個人、グループを表彰して功績を称え、社会参加活動の一層の推進を図った。
- ・令和5年度は特別表彰（5年ごと）として、長野県シニア大学、賛助会員グループの講師で功績があった者に感謝状を贈呈した。

- ▶ 知事表彰（社会福祉表彰） 個人1人、グループ1団体
- ▶ 長野県長寿社会開発センター表彰 個人7人、グループ4団体
- ▶ 特別表彰（感謝状） 個人12人

(3) 活動推進事業

高齢者による社会参加活動を推進するため、センター支部の自主的な活動を支援した。

ア センター支部活動事業

- ・センター支部が管内の高齢者を対象に行う生きがい・健康づくりや社会参加につながる事業（講演会、トークセッション、地区高齢者作品展など）の経費を助成した。
- ・市町村、社会福祉協議会等との連携・協働により、高齢者の社会参加に対する意識の向上を図る県民参加の「タウンミーティング」を、各支部でオンラインも活用して開催した。

イ 高齢者地域活動会議運営事業

- ・高齢者の生きがい・健康づくりと社会参加を促進し、地域社会の維持、活性化に寄与する枠組みづくりを進めるため、市町村、市町村社協、シルバー人材センター等の関係機関が参画する「ネットワーク会議（高齢者地域活動会議）」を、支部ごとに、シニア活動推進コーディネーター等との連携を図りながら開催した。

2 人づくり

(1) 人材育成事業

シニア世代の多様な生き方、価値観を大切にしながら、自ら地域課題に気づき、学習を通して社会参加のきっかけをつかみ、社会の一員として地域とかかわる人材を育むことを目指す「長野県シニア大学」を運営した。

ア 長野県シニア大学運営事業

- ・10学部において一般コース、長野学部において専門コースを運営した。令和5年度は引き続き、新型コロナウイルス感染症の基本的な感染防止対策に留意し、対策に応じた会場定員を踏まえた募集定員とした。
- ・少人数の専門コースでは、対面方式を基本としつつ、オンラインを使用したハイブリッド方式の講座運営を取り入れ、遠方のゲスト講師や学生の事情にも柔軟に対応した授業を実施した。

(ア) 一般コース（2年制／県内10学部）

〔生きがいづくり・仲間づくり・社会参加のきっかけづくりを目指す〕

- ▶ 定員（10学部合計） 1学年 635人 2学年 655人
- ▶ 学生数（ // ） 1学年 518人 2学年 336人

(イ) 専門コース（1年制／全県を対象に長野学部内に設置）

〔地域課題を的確に捉え、それを解決するスキルを持ったリーダーやプロデューサー的な人材の養成を目指す〕

- ▶ 定員 30人
- ▶ 学生数 32人
- ▶ 学習コース
 - ・ライフデザイン（創造的な生き方）
 - ・コミュニティデザイン（地域創造）
 - ・ビジネスデザイン（社会的起業）

▶ シニア地域プロデューサー

専門コース修了生は「シニア地域プロデューサー」としてセンターに登録し、センターと連携を図り、各地域で活動を行っている。（R5年度末現在 登録者計163人）

イ シニア大学運営委員会の開催

・シニア大学の運営について審議する委員会で、大学の現状と方向性等を意見交換した。

- ▶ 開催日 令和5年11月10日（金）
- ▶ 委員 学識経験者等 6名

3 仲間づくり・健康づくり

(1) 推進事業

文化・芸術活動やスポーツ競技等を通じて、高齢者の生きがいと健康づくりを増進し、社会参加に対する理解と幅広い交流を深める県内高齢者の文化・スポーツの祭典「信州ねんりんピック」を開催した。また、全国健康福祉祭には、長野県選手団を愛媛県に派遣した。

ア 信州ねんりんピック開催事業

・文化・芸術交流大会は4年ぶりに参加者を参集して上田市で開催、スポーツ交流大会は佐久市及び小諸市で開催し、あわせて延べ1,800人が参加した。

(ア) 文化・芸術交流大会

a 式典・交流会

- ▶ 期日 令和5年9月9日（土）
- ▶ 場所 上田市丸子文化会館セレスホール
- ▶ 内容 式典・表彰（前掲のとおり）、交流広場（地域のシニア活動紹介、出店）、リレートーク「みんなで語り合おう 地域の未来」
- ▶ 参加者 会場参加510人

b 囲碁・将棋大会

- ▶ 期 日 令和5年9月9日（土）
- ▶ 会 場 上田市丸子公民館
- ▶ 参加者 50人

c シニア作品展

- ▶ 期 日 令和5年9月8日（金）～9月10日（日）
- ▶ 会 場 上田市丸子文化会館セレスホール
- ▶ 作品部門 日本画、洋画、彫刻、手工芸、書、写真（6部門、203点出品）
- ▶ 来場者 3日間 計640人

(イ) スポーツ交流大会

- ▶ 期 日 令和5年10月7日（土）、10月21日（土）
- ▶ 会 場 佐久市内各運動競技施設、小諸市乙女湖公園運動場テニスコート
- ▶ 競技種目 ダンススポーツ、グラウンド・ゴルフ、ゲートボール、ソフトテニス、ソフトバレーボール、ペタンク、ウォークラリー、弓道、テニス、マレットゴルフ（10種目）
- ▶ 参加者 600人

イ 全国健康福祉祭選手派遣事業

・総勢118人の長野県選手団を愛媛県に派遣した。

- ▶ 期 日 令和5年10月28日（土）（開会式）～10月31日（火）（閉会式）
- ▶ 会 場 愛媛県内各会場
- ▶ 参加種目 ・スポーツ交流大会
卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク、ゴルフ、弓道、剣道、水泳、サッカー、ソフトバレーボール、太極拳、ダンススポーツ（14種目）
・文化交流大会
囲碁、将棋、健康マージャン（3種目）
・美術展
日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真（6部門、11作品出品）
- ▶ 参加者 選手団118人

(2) 活動推進事業

地区賛助会の運営や賛助会員グループの活動に対して助成するとともに、グループ活動を一層活性化するための取組の検討を進めた。

ア 賛助会員募集事業

- ・賛助会員の加入促進を図るとともに、賛助会員の特典となる利用施設の料金等の割引サービスを提供する「割引協力店」を募り、その案内パンフレットを会員に配布した。
- ・地区賛助会と連携し、シニア大学生への勧誘や関係機関の訪問等に取り組んだ。

- ▶ 賛助会員の状況（令和5年度末現在）
 - ・個人会員 1,540人、法人会員 70団体
 - ・活動グループ数 106グループ（活動会員 1,107人）
- ▶ 割引協力店（令和5年度末現在） 234施設

イ 地区賛助会運営費交付事業

- ・地区賛助会が行う活動発表会の開催、会報の発行、会員の加入促進など、運営に係る経費を交付した。
 - ▶ 交 付 1,271千円（10地区賛助会合計）

ウ 地区賛助会連絡協議会運営事業

- ・賛助会員代表（各地区2名、合計20名）と支部事務局長（10人）から構成する連絡協議会を開催し、地区賛助会の活動紹介やセンター事業等についての意見交換を行った。
 - ▶ 開 催 第1回 令和5年6月23日（金）
 - 第2回 令和6年1月29日（月）（Web会議）
- ・正副会長会議を実施し、今後新たに実施を計画する全県の地区賛助会研修会等について意見交換した。
 - ▶ 開 催 第1回 令和6年1月22日（月）（Web会議）
 - 第2回 令和6年2月15日（木）（Web会議）

エ 賛助会員グループ活動支援事業

- ・賛助会員グループの活動を積極的に推進するため、活動経費の一部を助成した。
 - ▶ 助 成 110グループ 1,237,300円（うち地域づくり活動加算適用：36グループ）

オ 賛助会員グループ立上げ給付金事業

- ・賛助会員による新たなグループの設立に対し、給付金を給付した。
 - ▶ 給付 9グループ 90千円

4 コーディネートの仕組みづくり

(1) 活動推進事業

ア 高齢者社会参加促進事業

高齢者の社会参加ニーズと地域社会の高齢者に対するニーズに関する情報を一元的に提供する「シニア活動推進コーディネーター」を配置し、市町村、市町村社会福祉協議会、シルバー人材センター等の関係機関と連携体制（プラットフォーム）を構築し、情報共有を図ることを通じて、高齢者と地域社会のニーズのマッチングを行い、高齢者の多様な社会参加を支援した。

- ▶ コーディネーターの配置 本部1名・各支部1名（合計11名）
- ▶ コーディネーター相談件数 延べ5,466件

Ⅲ センターの運営

センターの運営について審議するため、理事会、評議員会を開催したほか、事業の円滑な推進を図るため、支部事務局次長等会議等を開催した。

(1) 理事会

〔定例〕

- ▶ 第26回理事会 令和5年5月25日（木）
 - ・令和4年度事業報告・決算報告、任期満了に伴う次期理事等の候補者について 等
- ▶ 第27回理事会 令和6年3月4日（月）
 - ・令和6年度事業計画・収支予算について 等

(2) 評議員会

〔定例〕

- ▶ 第25回評議員会 令和5年6月15日（木）
 - ・令和4年度事業報告・決算報告、任期満了に伴う次期理事等の選任について 等
- ▶ 第26回評議員会 令和6年3月27日（水）
 - ・令和6年度事業計画・収支予算について 等

〔臨時〕

- ▶ 臨時評議員会 令和5年5月16日（火）【みなし決議】
 - ・理事の辞任に伴う後任者の選任（1名）について
- ▶ 臨時評議員会 令和5年8月25日（金）【みなし決議】
 - ・評議員の辞任に伴う後任者の選任（1名）について
 - ・理事の辞任に伴う後任者の選任（2名）について

(3) その他の会議等

- ▶ 支部事務局次長等会議
 - 第1回 令和5年4月21日（金）（Web会議）
 - ・令和5年度事業の実施について
 - 第2回 令和6年1月18日（月）（Web会議）
 - ・令和6年度事業計画の概要について

(4) 監査

- ▶ 監事監査 令和5年5月16日（火）
 - ・令和4年度事業執行状況及び収支決算の状況等について